

經濟論叢

第 156 卷 第 1 号

アバッティの有効需要論 (1)小 島 專 孝 1

P & G の日本市場におけるマーケティング
活動 1972-1985 (1)ジョン・ライアン 30

ハイエクと貨幣.....江 頭 進 47

レイヨンフーヴッド再考.....廣 瀬 弘 毅 65

平成 7 年 7 月

京 都 大 學 經 濟 學 會

京都大学経済学会規則（沿革）

目的及び事業

- 第3条 本会は、経済学・経営学に関する研究・教育の振興と、その成果の普及を図り、京都大学経済学部発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 機関誌「経済論叢」を発行すること。「経済論叢」は毎月1回発行すること。ただし、臨時特別号を発行することがある。
 2. 「経済学研究叢書」を発行すること。
 3. 学術研究会を開催すること。
 4. 公開講演会を開催すること。
 5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

構成

- 第5条 本会は、左の会員をもって組織する。
1. 正会員
(一) 京都大学経済学部教授、助教授、講師、助手及び同学部出身者。
(二) 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者。
(三) 評議員会にてとくに認めたもの。
 2. 学生会員 京都大学経済学部学生。
 3. 賛助会員 本会の事業を賛助するもの。
- 第6条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の配布を受ける個人及び団体は購読会員とする。
- 第7条 特別の場合に限り、前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる。
- 第8条 会員には、「経済論叢」を配布する。ただし、臨時特別号はこの限りでない。

会費

- 第10条 会員は、左の会費を納めなければならない。
- | | | | |
|---------|--------------|---------|-----------|
| 1. 正会員 | 年額 7,500円 | 2. 学生会員 | 年額 7,500円 |
| 3. 賛助会員 | 年額 10,000円以上 | 4. 購読会員 | 年額 7,500円 |

— 既 刊 目 次 —

第155巻 第5・6号

インフラストラクチャーの経済学	池 上 惇
JR 連結財務諸表の作成をめぐる 理論問題の再検討（2）	藤 井 秀 樹
航空産業における情報インフラストラクチャー の経済的意義	戸 崎 肇
神戸市都市経営の一考察（1）	池 田 清
需要の不確実性と投資	石 上 秀 昭
家族内時間配分理論の検討	居 神 浩

執筆者紹介 (掲載順)

小 島 専 孝	京都大学助教授
ジョン・ライアン	京都大学大学院学生
江 頭 進	京都大学大学院学生
廣 瀬 弘 毅	京都大学大学院学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内
京 都 大 学 経 済 学 会
振替口座01090-9-17219番
 1. 会費年額 7,500円 (前納)
 1. 会員各位の現住所、氏名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。
- ※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

平成7年6月25日印刷
平成7年7月1日発行

編 集 兼
発 行 人

京 都 大 学 経 済 学 会

印 刷 所

内 外 印 刷 株 式 有 限 公 司
京都市南区吉祥池田南町13

発 行 所

京 都 大 学 経 済 学 会
606 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
振替口座01090-6-17219番

発 売 所

株 式 有 限 公 司 有 斐 閣
101 東 京 都 千 代 田 区 神 田 神 保 町 2-17
振 替 口 座 東 京 6-3-70 番
京 都 支 店 606 左 京 区 田 中 門 前 町 44

Keizai-Ronzo

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 156, No. 1

July 1995

CONTENTS

- Abbati's Theory of Effective Demand (1)
— A. H. Abbati: A Neglected Precursor of
the *General Theory* — *Hiroataka KOJIMA*
- P&G's Marketing in Japan, 1972-1985 (1) *John RYAN*
- Hayek and Money *Susumu EGASHIRA*
- Reconsideration of Leijonhufvud's Proposition *Koki HIROSE*

Published
by
KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI
(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)